

令和7年度（2025年度）

熊本県立八代高等学校
入学者選抜募集要項
(出願書類添付)



熊本県立八代高等学校

〒866-0885
熊本県八代市永碓町856
TEL (0965) 33-4138 (代表)
FAX (0965) 35-8463

I 前期（特色）選抜

本校は実施しない

II 後期（一般）選抜

1 出願資格

入学を志願できる者は、本県の前期（特色）選抜又は中高一貫教育（連携型）に係る入学者選抜に合格した者以外の者であるとともに、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校（義務教育学校及び特別支援学校中等部を含む。）を卒業した者又は令和7年（2025年）3月に卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年（2025年）3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 入学者選抜の方法

- (1) 入学者の選抜は、出身中学校長から送付された調査書、成績一覧表等の書類及び選抜のための学力検査の成績等を資料として、本校の特色に応じて、その教育を受けるに必要な能力・適性等を判定して行う。
- (2) 調査書の各教科の学習の評定と学力検査の成績を選抜の主たる資料とする。
- (3) 入学願、調査書及び成績一覧表等の提出書類に虚偽の事実を発見した場合は、合格発表後であっても、その合格を取り消すことがある。

3 募集人員

募集人員は、募集定員240人から本校に併設する熊本県立八代中学校からの入学予定者数を減じた数とする。

4 通学区域等

- (1) 本校の通学区域（学区）は県南学区とする。
- (2) 上記以外の学区外の出願者に入学を許可し得る数は、後期（一般）選抜の募集人員の13パーセント以内とする。なお、学区外の出願者のうち、県外からの出願者に入学を許可し得る数は、後期（一般）選抜の募集人員の5パーセント以内とする。
- (3) 後期（一般）選抜における学区内の受検者数が募集人員を超えていない場合、後期（一般）選抜における募集人員内において、学区外の出願者について、(2)で設定された人員の上限を超えて入学を許可することがある。

5 出願期間

- (1) 令和7年（2025年）2月12日（水）から2月17日（月）までの間、毎日午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。ただし、土曜日及び日曜日は除く。なお、郵送による出願の場合は、2月16日（日）までの消印のあるものに限って受け付ける。
- (2) 県外からの出願においても出願期間は(1)に示すとおりであるが、転勤等やむを得ない事情によってこの期間に出願できなかった場合には、入学式当日までに本校の学区内に保護者とともに確実に転居し、入学後も通学区域内から通学することが確認できることを条件に、特例として令和7年（2025年）2月21日（金）から2月28日（金）午後4時まで受け付ける。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日は除く。なお、この場合、やむを得ない事情のため令和7年（2025年）2月17日（月）までに出席できなかったことを証明する書類を添付すること。

6 出願手続等

(1) 出願手続

ア 出願者による手続

出願者は、次の書類等を在学する中学校長又は出身中学校長（以下、「出身中学校長」という。）を經由して本校校長に提出する。

(ア) 入学願（本校所定のものを用いる。）

- a 本校に出願する者は、入学願の「保護者」の「氏名」及び「生活の本拠」欄を、記入すること。
- b 入学願の「保護者」の「氏名」及び「生活の本拠」欄については、次のとおりとする。
 - (a) 「生活の本拠」欄は番地等の記入を要しない。
 - (b) 事情がある場合は記入を要しない。なお、出身中学校長は出願期間内に本校校長に説明をするものとする。
- c 入学願記載事項の証明に当たっては、出身中学校長は、厳正な調査に基づいて責任ある証明をしなければならない。
- d 本校の学区外の中学校出身者で、学区内として出願する者は、保護者の生活の本拠が学区内にあるということを証明できる書類を添付すること。
- e 学区内、学区外の記載について疑義がある場合は、出願した者に対し、その保護者の生活の本拠が学区内にあるということを証明する書類の提出を求めることがある。

(イ) 受検票（令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜要項の様式3）

以下、令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜要項における「様式番号」を標記

(ウ) 写真票（様式4）

(エ) 入学者選抜手数料納付証明書貼付台紙（様式5）

入学者選抜手数料は2,200円とする。指定の納付書により、令和7年（2025年）1月25日（土）から2月17日（月）正午までに指定されたコンビニエンスストアで納付後、入学者選抜手数料納付証明書を様式5に貼付する。いったん納付した入学者選抜手数料は、理由のいかんを問わず返付しない。なお、留意事項については、納付書裏面を参照すること。

(オ) 自己申告書（様式6）

- a 出願者のうち、欠席日数が1年間で30日以上の方については、自己申告書を提出することができる。ただし、30日未満の日数であっても希望する者は提出することができる。
- b 自己申告書（様式6をコピーして使用しても可。）は、出願者本人が記入する。
- c 自己申告書は、本人の氏名、郵便番号、住所を記入した返信用封筒（定形。切手は不要。）を同封の上、厳封した後、出身中学校長に提出する。なお、提出する封筒には、中学校名、氏名を記入しておくこと。また、いずれの封筒も出願者が準備すること。

(カ) 海外帰国生徒等の特別措置適用申請書（様式25）

海外帰国生徒等の特別措置（※VIの2を参照のこと。）の適用を受けようとする者は、特別措置適用申請書を添付すること。

(キ) 県外公立高等学校入学志願についての証明書（様式24）

県外中学校出身者で本校に出願する者は、県外公立高等学校入学志願についての証明書を添付すること。

(ク) 郵送による出願は、受検票送付のため、出願者本人の住所・氏名を記入し、返信用切手460円分（郵送料110円分及び簡易書留の料金350円分）を貼付した返信用封筒（長形3号）を同封すること。なお、2月16日（日）までの消印のあるものに限り受け付ける。

イ 中学校長による手続

出身中学校長は、出願者から提出された上記アの(ア)～(ク)のほか、所定の調査書及び成績一覧表を、令和7年(2025年)2月21日(金)から2月26日(水)までに提出すること。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日は除く。

(2) 出願の制限

出願は、1校限りとする。いったん入学願を提出した後は、(3)の「出願変更」及び(4)の「出願取消し」の場合を除き、どのような変更(出願期間内に、本校への出願を取り下げて、別の高等学校に出願することも含む。)も認めない。

(3) 出願変更

ア 出願した高等学校を変更したい者は、1回に限り変更することができる。

イ 出願変更期間は、令和7年(2025年)2月18日(火)から2月20日(木)までとし、この期間にウの出願変更の手続をすべて完了すること。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、最終日は正午までとする。なお、郵送による出願変更は受け付けない。

ウ 出願変更の手続は、次のとおりとする。

(ア) 出願変更したい者は、出身中学校長を経て、本校校長に、「出願変更願(甲)」(様式14:白色)、「出願変更願(乙)」(様式15:水色)と先に交付された受検票を提出し、所定の欄に証明を受けた「出願変更願(乙)」と先に提出した入学願、写真票を受け取る。(自己申告書を提出した場合は、自己申告書も受け取る。「出願変更願(甲)」及び受検票は、本校で保管する。)

(イ) 受け取った「出願変更願(乙)」に、新たに作成した入学願、受検票、写真票を添付し、出身中学校長を経て、出願変更先の高等学校長に提出し、受検票の交付を受ける。(自己申告書は新たに作成し、出願変更先の高等学校長にも提出できる。)

エ 入学者選抜手数料については「令和7年度(2025年度)熊本県立高等学校入学者選抜要項Ⅲの8の(3)のエ」によるものとする。

(4) 出願取消し(「出願取消し」とは、出願を取り消した後、どの高等学校へも出願をしない場合をいう。)

出願取消しの場合は、令和7年(2025年)2月21日(金)から3月3日(月)午後4時までに、本人、保護者及び出身中学校長連署の上、文書で本校校長に届け出ること。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日は除く。

7 選抜(本検査)

(1) 学力検査

ア 学力検査日時

令和7年(2025年)3月4日(火)及び5日(水)の両日、午前10時から実施する。

イ 検査場

熊本県立八代高等学校

ウ 学力検査問題

(ア) 検査教科、検査時間及び配点等

a 検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科とし、英語のリスニングテストを英語の検査時間内に実施する。

b 検査時間は、各教科とも50分とする。

c 配点は、各教科とも50点とする。

(イ) 学力検査時間割

第1日 3月4日(火)

本校第一体育館集合 9:20

	教科	開始時刻	終了時刻	検査時間(分)
第1時限	国語	10:00	10:50	50
休憩				
第2時限	理科	11:10	12:00	50
休憩				
第3時限	英語 (リスニングテストを含む。)	13:10	14:00	50

第2日 3月5日(水)

本校第一体育館集合 9:20

	教科	開始時刻	終了時刻	検査時間(分)
第1時限	社会	10:00	10:50	50
休憩				
第2時限	数学	11:10	12:00	50

エ 選抜の手順

(ア) 第1選考

「令和7年度(2025年度)熊本県立高等学校入学者選抜要項Ⅲの9の(1)のカ」による第1選考を実施する。

(イ) 第1選考後の選抜基準

学力検査(5教科250点満点)の総計点を3倍した得点(A)と評定の総計点(180点満点)(B)との合計点(A+B)を主たる資料とし、選抜を行う。

オ 受検者の携帯品

受検者は、受検票、筆記用具、消しゴム、定規、コンパス、上履き、下足入れを持参すること。ただし、三角定規、分度器付き定規、分度器付きコンパス、分度器、下敷き、電卓、計算機能・辞書機能・地図表示機能を持つ時計、移動通信機器(携帯電話等)、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)等、検査上公正を欠くものの検査を実施する教室への持ち込みは許さない。なお、1日目は昼食を持参すること。

(2) 健康診断

調査書の健康の記録欄によって、より精密な検査を必要と認める場合には、学校医又は公的な医療機関による検査を求めることがある。

8 合格者の発表

(1) 合格者は、令和7年(2025年)3月12日(水)に受検番号で発表する。本校における掲示の発表は行わず、特設Webページで発表する。詳細については、別途通知するとともに県教育委員会のホームページに掲載する。本人宛てに合否結果の通知はしない。

(2) 電話による合否に係る問い合わせには、いっさい応じない。

9 不合格者の取扱い

不合格者の中で自己申告書を提出した者については、その自己申告書を出願者本人宛て、親展便にて返却する。

10 後期（一般）選抜の追検査

(1) 資格

令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜の後期（一般）選抜で本校に出願し、病気その他やむを得ない事情により、後期（一般）選抜の学力検査を受検することができなかった者で、その理由が出身中学校長によって証明された者。

(2) 受検できる高等学校

本校のみとする。

(3) 入学者選抜の方法

この要項のⅡの2によるものとする。

(4) 募集人員

若干名

(5) 申請期間及び手続等

希望者は、令和7年（2025年）3月4日（火）から3月7日（金）までの間、出身中学校長を経由して、本校校長に、追検査受検願（様式16）を提出すること。受付時間は、毎日午前9時から午後4時までとする。出身中学校長へ3月10日（月）午後4時までに追検査承認の可否を伝える。なお、本校校長から追検査の受検が承認された者（以下、「対象者」という。）のみ追検査を受検することができる。

(6) 選抜

ア 学力検査

(ア) 学力検査日時

令和7年（2025年）3月13日（木）、午前9時30分から実施する。

(イ) 検査場

熊本県立八代高等学校

(ウ) 学力検査問題

a 検査教科、検査時間及び配点

(a) 検査教科は、国語、数学及び英語の3教科とする。なお、英語の検査においてリスニングテストは実施しない。

(b) 検査時間は、各教科とも50分とする。

(c) 配点は、各教科とも50点とする。

(d) 対象者のうち、海外帰国生徒等の特別措置を承認されている者については、国語、数学及び英語のうち、承認された教科での実施とする。

b 学力検査時間割

3月13日（木）

本校第一体育館集合 9：00

	教科	開始時刻	終了時刻	検査時間（分）
第1時限	国語	9：30	10：20	50
休憩				
第2時限	数学	10：40	11：30	50
休憩				
第3時限	英語	11：50	12：40	50

(エ) 選抜の手順

学力検査の結果を「(3) 入学者選抜の方法」に定める資料の一つとして選抜基準を定め、選抜を行う。

(オ) 受検者の携帯品

本検査に準じる。

(7) 合格者の発表等

選抜結果について、郵送で令和7年（2025年）3月17日（月）に、対象者に通知（様式17）するとともに、出身中学校長に通知（様式18）する。

(8) 不合格者の取扱い

不合格者の中で自己申告書を提出した者については、その自己申告書を出願者本人宛て、親展便にて返却する。

11 その他

この入学者選抜募集要項に記載のない事柄については、「令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜要項」によるものとする。

Ⅲ 二次募集

合格者数が募集定員に満たない場合、二次募集を実施する。詳細については、「令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜要項Ⅳ」によるものとする。

Ⅳ 県外からの出願の手続

- 1 県外中学校出身者で本校に出願する者は、この要項のⅡ後期（一般）選抜6の(1)に示した必要書類等を本校校長に提出すること。
- 2 県外中学校出身者で本校に出願する当該中学校長は、成績一覧表（様式8）については県教育委員会ホームページに掲載されている県外中学校出身者用の様式を使用すること。熊本県教育委員会（熊本市中央区水前寺6丁目18番1号、熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課長宛て）及び本校校長に各1部を令和7年（2025年）2月21日（金）から2月26日（水）までに提出すること。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日は除く。
- 3 出願に当たっての必要な書類は、本校校長に請求すること。

Ⅴ 障がい等がある受検者への配慮事項

- 1 出身中学校長は、障がい等があるため、通常の方法により受検することが困難と認められる者が志願する場合には、すみやかに本校校長へ連絡すること。
- 2 障がい等があるため、通常の方法により受検することが困難と認められる者については、県教育委員会の承認を受けて、検査方法や検査場等について適切な措置を講じる。
- 3 具体的な配慮として、検査時間の延長、問題用紙の拡大、英語のリスニングテストにおけるテロップ受検などを実施する。
その他、必要に応じて個別に対応する。

Ⅵ 海外帰国生徒等の取扱い

1 海外帰国生徒等への配慮事項

- (1) 出身中学校長は、海外帰国生徒、中国等帰国生徒及び外国人生徒で、特別の配慮が必要と認められる者が志願する場合には、すみやかに本校校長へ連絡すること。
- (2) 海外帰国生徒、中国等帰国生徒及び外国人生徒で、特別の配慮が必要と認められる者については、県教育委員会の承認を受けて、検査時間の延長など、検査方法や検査場等について適切な措置を講じる。

2 後期（一般）選抜における海外帰国生徒等の特別措置

(1) 資格

次のア～ウのいずれかに該当する海外帰国生徒等で、特別措置による受検を希望する者

- ア 中国等帰国生徒で、原則として、帰国後小学校（義務教育学校及び特別支援学校小学部を含む。）4年以上の学年に編入学した者、又は帰国時すでに学齢を超過してわが国の小・中学校（義務教育学校、特別支援学校小学部及び中学部、中等教育学校前期課程を含む。）に編入学できなかった者で、平成31年（2019年）4月1日以降に帰国した者
- イ 外国人生徒で、原則として、入国後小学校（義務教育学校及び特別支援学校小学部を含む。）4年以上の学年に編入学した者、又は入国時すでに学齢を超過してわが国の小・中学校（義務教育学校、特別支援学校小学部及び中学部、中等教育学校前期課程を含む。）に編入学できなかった者で、平成31年（2019年）4月1日以降に入国した者
- ウ 海外帰国生徒で、原則として、過去に、在外教育施設（日本人学校等）以外の学校に引き続き1年以上在学し、かつ、令和4年（2022年）4月1日以降に帰国した者

(2) 特別措置の内容

- ア 5教科（国語、社会、数学、理科、英語）の中から志願者があらかじめ選択した3教科の学力検査と、作文及び面接を本校において実施する。
- イ 作文及び面接を実施する場合は、それぞれ令和7年（2025年）3月4日（火）又は5日（水）のいずれかの日に実施する。
- ウ 作文は、出願者の適性或意欲・関心等をみるために、800字、50分で実施する。

(3) 入学を許可し得る数は、本校の募集人員枠内で若干名とする。

(4) 出願手続等

- ア 出身中学校長は、(1)のア～ウのいずれかに該当する海外帰国生徒等で、特別措置による受検が必要と認められる者が受検を希望する場合には、すみやかに本校校長に連絡すること。
- イ この特別措置の適用を受けようとする者は、出身中学校長を経由して、海外帰国生徒等の特別措置適用申請書（様式25）を入学願とともに本校校長に提出すること。
- ウ 上記申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、県教育委員会の承認を受けて、特別措置を実施する。

Ⅶ 郵送による個人情報提供

出願者の希望があれば、次のとおり、郵送による個人情報の提供を受けることができる。

1 提供する個人情報

令和7年度（2025年度）熊本県立高等学校入学者選抜の後期（一般）選抜における学力検査の教科別得点及び合計得点

2 提供を希望できる者

上記1の学力検査の出願者本人

3 提供する期日等

令和7年（2025年）3月25日（火）から3月27日（木）までの間に、本校から本人宛て簡易書留にて発送する。

4 提供を希望する際の手続等

- (1) 個人情報の提供を希望する出願者は、提供希望願（様式26）及び返信用封筒（長形3号）を、入学願とともに本校校長に提出すること。なお、返信用封筒には、出願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、返信用切手460円分（郵送料110円分及び簡易書留の料金350円分）を貼ること。

- (2) 出願変更をする場合は、出願者は、本校校長から、提供希望願及び返信用封筒を受け取り、新たに出願変更をする高等学校長に提出すること。

5 留意事項

- (1) 提供希望願（様式26）の用紙は、中学校において作成すること。
- (2) 出身中学校長は、入学願及び提供希望願により、提供の希望の有無を確認すること。さらに、返信用封筒の宛名が出願者本人であり、宛先が出願者本人の住所であることを入学願により確認すること。また、切手の貼付の有無も確認すること。

VIII 中高一貫教育（併設型）に係る本校への入学について

県立八代中学校第3学年の課程を修了後、引き続き本校への入学を志願する者に対しては、選抜を行わない。ただし、他の高等学校等へ出願した場合は、この限りではない。